

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

2012年の年明けに際して一言ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返れば、未曾有の爪痕を残した東日本大震災をはじめ復興の遅れ、原発事故問題・タイの洪水によるサプライチェーンの崩壊・想定外の円高等、日本経済は先行き不透明感を強めた年でありました。

また、業界におきましても、沖縄の自由貿易地域および特別自由貿易地域に限定した規制緩和によりカボタージュ制度堅持の声が強まり、その後一時鎮静化したものの、政府の行政刷新会議における規制見直しの議論や、京浜3港による「国際コンテナ戦略総合特区」申請など、予断を許さない状況が続いています。

こうした中、平成28年度以降の暫定措置事業のあり方をはじめ、代替建造促進問題や船員雇用・育成問題等、安定的輸送の実現に向けた取組みにも精力的に取り組んだ年でもありました。

そして今年は辰年です。

皆様におかれましては、中国の故事にある登竜門「黄河の上流にある急流を上れる鯉は竜と化す」で表すように、飛躍の切欠になる年になりますよう衷心より祈念致します。

また、上部団体である全国海運組合連合会会長が年頭の挨拶にも表明しておられる、

1. 輸送変化への対応
2. 安全輸送実現への対応
3. 組合事業運営への一致協力

という今年目標実現に向け、当組合を挙げて協力して参りたいと思っております。

最後になりましたが、事業者の皆様はじめ従業員の皆様並びにご家族の皆様方の、益々のご活躍・ご健勝を心よりお祈り申し上げ年頭の挨拶に代えさせていただきます。

山口県内航海運組合

理事長 藏本由紀夫